

2018年度(平成30年度)

センター試験利用 入学試験 — 募集要項 —

東京農業大学アドミッション・ポリシー	1
出願から入学手続きまでの流れ	6
出願資格／概要／出願の特徴	7
募集人員・入試日程	8
試験科目一覧	10
出願	16
合格発表／入学手続／入学辞退	19
新入生納付金明細表(学費)	20
教育ローン制度	21
合否案内システム	22

東京農業大学

●入試制度・受験資格についての問い合わせ

〒156-8503 東京都世田谷区桜丘1-1-1 入試センター TEL.03(5477)2226

●大学出願ネットの操作・入学検定料の支払い・WEB出願全般についての問い合わせ

大学出願ネットサポートセンター TEL.042(732)3951 受付時間 10:00~18:00

※出願書類に記載された個人情報については、入試の円滑な処理ならびに入試合格者の進学状況調査のために使用します。個人情報を使用する際は取り扱いに充分留意し、目的以外の使用はいたしません。

東京農業大学アドミッション・ポリシー

農学部

農学科

農学科では、農作物の特質、栽培・管理技術、遺伝的多様性などに興味を持ち、豊かな心と実学的知力を身につけて、国内外において農業を中心とした広範囲な分野で活躍しようとする意欲を持った、次のような学生を求めています。

- ①農学に留まらず、生命、生態系など、生物学に関する素養と化学、数学に関する基礎学力を身につけている。
- ②農業および関連産業で活躍するために、柔軟な思考力と豊かな表現力を備えている。
- ③農業問題、環境問題などを主体的、協働的に学ぶ意欲を有している。

動物科学科※1

動物科学科では、動物や動物関連産業に興味を持ち、将来の人生設計に生かすためにそれらに関わる知識・技能を身につけ、世界的な視野に立って活躍したいという意欲のある人材を求めている。

- ①本学科での専門科目の理解に必要な知識、特に生物、化学、数学、並びに英語の基礎的な学力を身につけている人。
- ②生命の尊厳や倫理を学び多様な価値観を受け入れられる豊かな心を育み、深い洞察力を持ち、的確な判断ができる人。
- ③動物に強い関心を持ち、動物を通して生命現象の本質を追求する意欲があり、何事にも真摯な態度で臨み、これを活用して人類の食料・環境・健康に貢献する意欲を持っている人。
- ④動物の生命・制御科学ならびに機能・生産科学に関する技能を修得するための実験・実習・演習に積極的に取り組み、自分の考えを持ちそれをしっかり他人に伝える表現力を持っている人。

生物資源開発学科※2

生物資源開発学科では、農用動植物のみならず、野生の動植物を含め、農業生態系やそれをとりまく里地・里山の環境から自然生態系に至る生物の多様性に興味をもち、その保全・管理から生物資源としての開発や利活用を通じて、未来に安心して託せる地球環境の保全と持続可能な社会づくりに貢献しようとする意欲を持った人材を求めている。

- ①生命、生物多様性など、生物学に関する素養を身につけた人。
- ②環境に配慮した農業や生物多様性の保全などの環境問題や野生の動植物を含む生物多様性の解明、各種生物資源の保全や管理、開発などに積極的に取り組む意欲のある人。
- ③農業及び環境関連産業、教育普及分野で活躍しようとする意欲のある人。

デザイン農学科※2

デザイン農学科では、生物素材や農の多面的機能を利用して、豊かで持続可能な社会を構築していくことに意欲をもった人材を求めている。

- ①自然科学の知識に留まらず、幅広い科目の基礎学力を身につけている人。
- ②日本および世界が直面している社会的な課題に関心を持ち、その解決に貢献する意欲を有している人。
- ③従来の生産科学に特化した農学だけではなく、工学、医学、福祉、生活科学などの幅広い関連分野を含めて俯瞰的に学ぶ姿勢を有している人。

応用生物科学部

農芸化学科※1

農芸化学科は、化学もしくは生物の基礎力を持ち、化学と生物を統合した知識や技術を大学で身につけて、持続可能な社会システムを維持しながらより豊かな生活を提案する意欲を有し、将来、化学・食品・農業分野の技術者・教育者として指導的立場に立って活躍することを目指す、次のような学生を求めています。

- ①作物生産からその利用までを支える技術の科学的基盤に興味を持ち、生物と化学の研究を通じて将来の技術革新に貢献したいという意欲がある。
- ②高校化学を履修し、化学の知識と技術が作物生産からその利用までの諸問題の解決に役立つことを理解している。
- ③作物生産からその利用までの過程を理解するのに必要な高校生物を履修し、そこで生じる問題を解決するためには、化学の知識と技術が必要であることを理解している。
- ④課題研究や実験・実習を通じて好奇心や考察力を養い、自分の考えを論理的な文章として他人に伝えることができる。

醸造科学科

醸造科学科は、微生物の生命活動により生じる発酵現象に興味を持ち、国内外における伝統的な微生物利用技術に関心を示し、これを論理的に科学することで、微生物を利用した技術開発や問題解決を行うことを志向する人材の養成を目指しています。これにより、将来、酒類・食品製造、環境浄化、エネルギー開発等、微生物利用分野の技術者・事業者として指導的立場に立って活躍することを目指す、次のような学生を求めています。

- ①高等学校において、化学および生物の授業を履修し、その内容を十分に理解・修得している。日本語の文章能力に優れ、適切な読解力および論理的な記述力を身につけている。高等学校卒業時に求められている数学および英語の能力を有している。
- ②微生物の示す発酵現象に関心を持ち、これを酒類・食品製造、環境浄化・エネルギー開発などに利用する分野で活躍する意欲を示している。

- ③実験・実習・研究等を通じた学びに強い関心があり、主体的かつ多様な人々と協動的に学ぶ姿勢を示している。
- ④ある事象に対して多面的かつ客観的に観察し、論理的に解析し、主体的に考察し、適切に他者に伝えることができる。

食品安全健康学科

食品安全健康学科は、生命に直結する「食の安全・安心」と「食の機能と健康」に興味を持ち、これを論理的に科学することで目の前のあらゆる困難な課題を解決する意欲を有し、将来、食品関連の技術者・教育者・行政官として指導的立場に立って活躍することを目指す、次のような学生を求めています。

- ①高等学校において化学および生物学の授業を履修し、内容について十分に理解している。また、語学においては、日本語・英語の双方について、文章の読解力、論理的な記述力を身につけている。
- ②主観的思考に捕らわれず、客観的事実を受け入れることにより事象における結果を判断できる。
- ③「食の安全・安心」と「食の機能と健康」に普段から関心を持ち、未解決の課題に対し、自らが参加して解決したいという強い意欲を有する。
- ④実験研究に興味があり、自らが中心となって、多様な人々と協働してその研究を実施する能力を有し、結果を社会に向けて発信できる。

栄養科学科

栄養科学科は、細胞や動物を対象とする食品栄養学分野とヒトを対象とする人間栄養学分野で、人々の健康に好ましい機能を与える食品や、その成分と生体が有する様々な機能との相互作用について追究しています。従って、食・栄養・健康に興味を持ち、管理栄養士の資格を活かして科学的根拠に基づいた食・栄養・健康の情報を活用し、様々なライフステージの人々に対し、健康の保持・増進、疾患の予防・改善、生活の質の向上に積極的に貢献し、また貢献する意欲を持ち、さらに、人間栄養学の知識を活かし、食品を消費の面から捉える能力を備え、将来、病院や介護施設の保健医療スタッフ・行政官・食品関連企業で指導的立場に立って活躍することを目指す、次のような学生を求めています。

- ①農学と医学を基盤とした食品学、栄養学に興味を持ち、学習意欲が旺盛で、管理栄養士として社会に貢献したいという意欲がある。
- ②高等学校において、食品学、栄養学を学ぶ上で基礎となる化学および生物学の授業を履修し、内容について理解・修得している。さらに国語や英語は、文章の読解力、論理的な記述力を身につけている。コミュニケーションを図るための基礎となる高等学校卒業時に求められている数学や現代社会・日本史などの社会科の能力を有している。
- ③社会が抱える健康上の課題とニーズを適切に捉え、科学的根拠の探索、情報の活用・発信のための研究に真摯に取り組むことができる。
- ④人々の健康に強い関心を持ち、豊かな人間力、コミュニケーション力を持っている。

生命科学部

バイオサイエンス学科

バイオサイエンス学科では、まず生命科学に強い興味を持ち、さらに環境問題・健康などにも興味を持つことにより、グローバルな視点でこれらの問題解決にチャレンジする人材を育成します。そのため、次のような学生を求めています。

- ①生命科学に関する知識を学習・理解し、それを応用することができる。
- ②幅広い視野から問題意識を持ち、論理的に考えることができる。
- ③生命科学を基盤に食料・健康・環境等に強い関心を持ち、それらの問題解決に意欲的に取り組むことができる。
- ④実験・実習・演習等通して学びに強い関心があり、多様な人々と協働して学ぶ姿勢を有している。
- ⑤正しい技術を身につけ、自分の知識や考え方を的確に表現し伝えることができる。

分子生命化学科

分子生命化学科は、理数系科目に優れ、論理性・客観性に基づいた判断が可能であり、高い倫理観に裏付けされた学習意欲を持ち、農学・生命科学領域に学びと生活を指向する人材の育成を目指します。そのため、次のような学生を求めています。

- ①Newton以来の伝統的科学的科学に興味と学習意欲があり、高次自己組織体としての生物への応用を考えている。
- ②農学・生命領域の科学・技術に関心があり、本質を捉えた学びを希望している。
- ③現在、人間の生活圏にある様々な問題に対し、普遍的な思考・技術体系に従って抜本的な解決を与えようと考えている。

分子微生物学科

分子微生物学科では、目に見えないミクロの世界で起こる生命現象に強い興味を持ち、さらには微生物が関与する様々な生命活動を幅広く認識し、未知の研究領域を積極的に開拓することができる人材を育成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①微生物だけでなく、植物や動物、また、分子変化は化学反応であるため、化学を含めた自然科学的基礎学力を修得する意欲を有している。
- ②調査能力、読解力、発信力、コミュニケーション能力に対して積極的に学ぶ姿勢を有している。

地域環境科学部

森林総合科学科

森林総合科学科は、広義の農学を基礎として、本学のアドミッション・ポリシーが掲げる「環境」分野への貢献のために、広く各科目を学んだ者のうち、次のような学生を求めています。

- ①農林業、木材・特用林産物利用、環境保全・防災、農山村地域等、広く森林に関わるものごとに興味・関心を有している。
- ②それらについて幅広い知識への関心や柔軟な思考能力を身につける意欲を有している。
- ③みどり豊かな国土と健全な地域社会の創造に向けた問題発見能力や問題解決能力を身につけることを希望している。
- ④それらの実現に向けてチャレンジする意欲を有している。

生産環境工学科

生産環境工学科は、「食料」、「環境」、「エネルギー」、「資源」をテーマに、環境に配慮した農業生産を支える工学的な技術開発に挑戦し、循環型社会の創造に貢献する人材を養成しています。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①英語の基礎学力を有し、数学、物理、化学、生物のうち一つ以上の科目を受験科目として学んでおり、農業生産およびその環境保全に関心がある。
- ②ある問題についての現状や原因、対策について、限られた情報だけから判断することなく、関連領域に好奇心を持ち多面的に考えることができる。
- ③数学と力学、情報技術について関心がある、または本学科が対象とする問題解決のためにそれらを学ぶ意欲があり、自分から学習に臨むことができる。また、現場への調査をいとわないなど行動力がある。
- ④積極的に自己をアピールでき、かつ他の人とのコミュニケーションが取れる。
- ⑤学部在学中に、工学的な考え方や技術を身につけ、自分の将来計画を考えることができる。

造園科学科

造園科学科は、本学のアドミッション・ポリシーを踏まえ、「環境」と「緑」の分野に挑戦するため、次のような学生を求めています。

- ①自然、緑（みどり）、生きもの、環境、まちづくり、景観、デザイン、生活、健康、文化、歴史などへの興味と、自然科学・社会科学・人文科学の知識を有している。
- ②人間と自然が共生した空間や環境を実現するための植物・生物・地域・歴史に関する知識と、論理的思考方法、コミュニケーション能力などの技術を備えた造園家、造園技術者として、地域社会へ貢献することを目指している。

地域創成科学科

地域創成科学科は、広範囲におよぶ農山村地域を対象として課題を解決するため、本学部の教育研究において数十年に亘って培ってきたノウハウを結集させ、林学・農業工学・造園学を融合した新しい教育研究システムを学ぶことによって、地域環境科学に関連する幅広い専門的な知識と技術を身につけ、それらの知識・技術を運用できるマネジメント能力を持った「地域社会の担い手・リーダーとなる人材」を育成します。そのため、次のような学生を求めています。

- ①地域づくりに強い好奇心・関心を持っており、それに関連する専門知識や技術を修得するための基礎的学力を有している。
- ②持続可能な地域づくりに向けて、広い視野を持ち、他者と協力して積極的に行動することができる。

国際食料情報学部

国際農業開発学科

国際農業開発学科では、環境保全に配慮した農業・農村開発を推進するために必要な教育・研究を行うとともに、グローバルな視点で農業開発を実践する人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①日本の高等学校卒業程度の英語、理科系科目、国語、社会系科目の基礎学力と必要な知識を修得している。
- ②開発途上国の農業・農村開発に関心があり、国際協力のために積極的に活動する意欲や、国際社会に貢献する希望を有している。
- ③異文化理解のための柔軟な思考ができ、多様な人々と協働するためのコミュニケーション力を有している。

食料環境経済学科

食料環境経済学科は、社会科学の手法を用いて、「農業」、「食料」および「環境」を取り巻く課題を地域的・国民的視点さらには国際的視点から究明し、もって「新たなフードシステムの構築」および自然と人間の共生を軸とした「持続的な循環型社会の構築」に資する人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①食料環境経済学を学ぶにあたり、文科系科目に対する興味・関心と基礎的な学力を有している。
- ②食べ物の生産・販売・消費や環境などに関心を持ち、地域社会や国際社会のビジネスや公的分野、教育分野で活躍する意欲を有している。
- ③食料・農業・環境にかかわる現場での実習や演習等を通じた学びに強い関心があり、共同で議論し研究する姿勢を有している。
- ④実社会に生じている新しい動きや問題点を見つけ出し、実証的・理論的に分析して自分の考えをまとめ、他者との議論を行うことができる。

国際バイオビジネス学科

国際バイオビジネス学科では、食料の生産、加工、流通等にかかわる経営管理やマーケティング、情報処理などの知識を身につけた農業・食品系企業の経営幹部を目指し、国内外で広く活躍したいと考える人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①入学後の修学に必要な基礎学力を有している。具体的には高等学校で履修する国語、数学、外国語、社会、理科などの基本的な教科について内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
- ②物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを的確に表現し伝えることができる。
- ③食料の生産、加工、流通等にかかわる経営管理・マーケティング、情報処理等に関心を持ち、農や食の分野に積極的に貢献する意欲・態度を有している。

国際食農科学科

国際食農科学科では、伝統的な食農文化の継承や開発により、地域社会や世界に貢献する人材を育成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①日本の多様な食農文化を継承し、より付加価値の高い農産物等の食材の生産、加工、流通に貢献することを目指している。
- ②地域社会が伝統的に育んできた食農文化を継承し、活用をコーディネートし、多様な産業や活動の支援に貢献することを目指している。
- ③食農教育を通じた文化の継承とともに、新たな食農文化を創造し、地域から世界に向けて展開・発信することを目指している。

生物産業学部

北方圏農学科※1

北方圏農学科は、生物産業（生産-加工-流通・ビジネス）と自然環境の共生という学部共通の学びを基盤とし、生物資源や自然資源が豊富なオホーツク圏において、食糧資源の生産と管理、生態系の保全、生物資源の機能などに興味を持ち、21世紀型の持続的循環社会に必要な自然と調和した食料生産や自然資源の保全に貢献できる意欲的な人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①広い視野で地域や社会に貢献する意志を持ち、明確な問題意識と問題解決に対する強い意欲を有している。
- ②心身ともに充実しており、地域や場所を問わず積極的に北方圏農学を学ぶ力を有している。
- ③実験や実習等を通じ、仲間や地域の人々との調和を大切に、協働する姿勢と自分の考えを他者に伝えるコミュニケーション能力を有している。
- ④北方圏農学を学ぶ上で必要な「英語」、「国語」、「数学」、「生物」および「化学」の基礎学力を修得している。

海洋水産学科※1

海洋水産学科は、生物産業（生産-加工-流通・ビジネス）と自然環境の共生という学部共通の学びを基盤とし、水圏の生物や生態系そして環境はもちろん、これらの保全や増養殖にも興味を持ち、オホーツク海から地球全体の生物、生態系や環境に関する問題の解決に積極的に取り組むことのできる意欲を持った人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①水圏における生物や生態系、これをとりまく環境に関する様々な問題に強く興味を持ち、自らの力で積極的に解決の糸口を探ることができる。
- ②得られた知識をもとに、様々な自然現象について創造的に深く考えて、自らの考えを的確にまとめることができる。
- ③与えられた様々な課題について自ら考えたことを、自らの言葉を用いて、多くの人々に平易に説明することができる。
- ④「生物」、「化学」、「数学」など自然科学に関する科目はもちろん、「国語」や「英語」についても基礎的学力を身につけ、それを応用することができる。

食香粧化学科※1

食香粧化学科は、生物産業（生産-加工-流通・ビジネス）と自然環境の共生という学部共通の学びを基盤とし、生物資源の食品や香料、化粧品への「加工・利用」の学びを通して、持続的循環社会におけるニーズや生活様式の多様化、産業構造の多角化に対応・貢献できる意欲的な人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①生物資源や地域資源を活用する食香粧化学に関心があり、社会貢献に対する強い意欲のもと諦めない心を持って物事に自発的に取り組める。
- ②生物産業および6次化産業における「加工」の役割を考え、それにかかわる学問の探求に関心がある。
- ③課題解決のために必要な思考力、コミュニケーション能力を有している。
- ④食香粧化学を学ぶ上で求められる「英語」、「国語」、「数学」、「生物」および「化学」の基礎学力と必要な知識を修得している。

自然資源経営学科※1

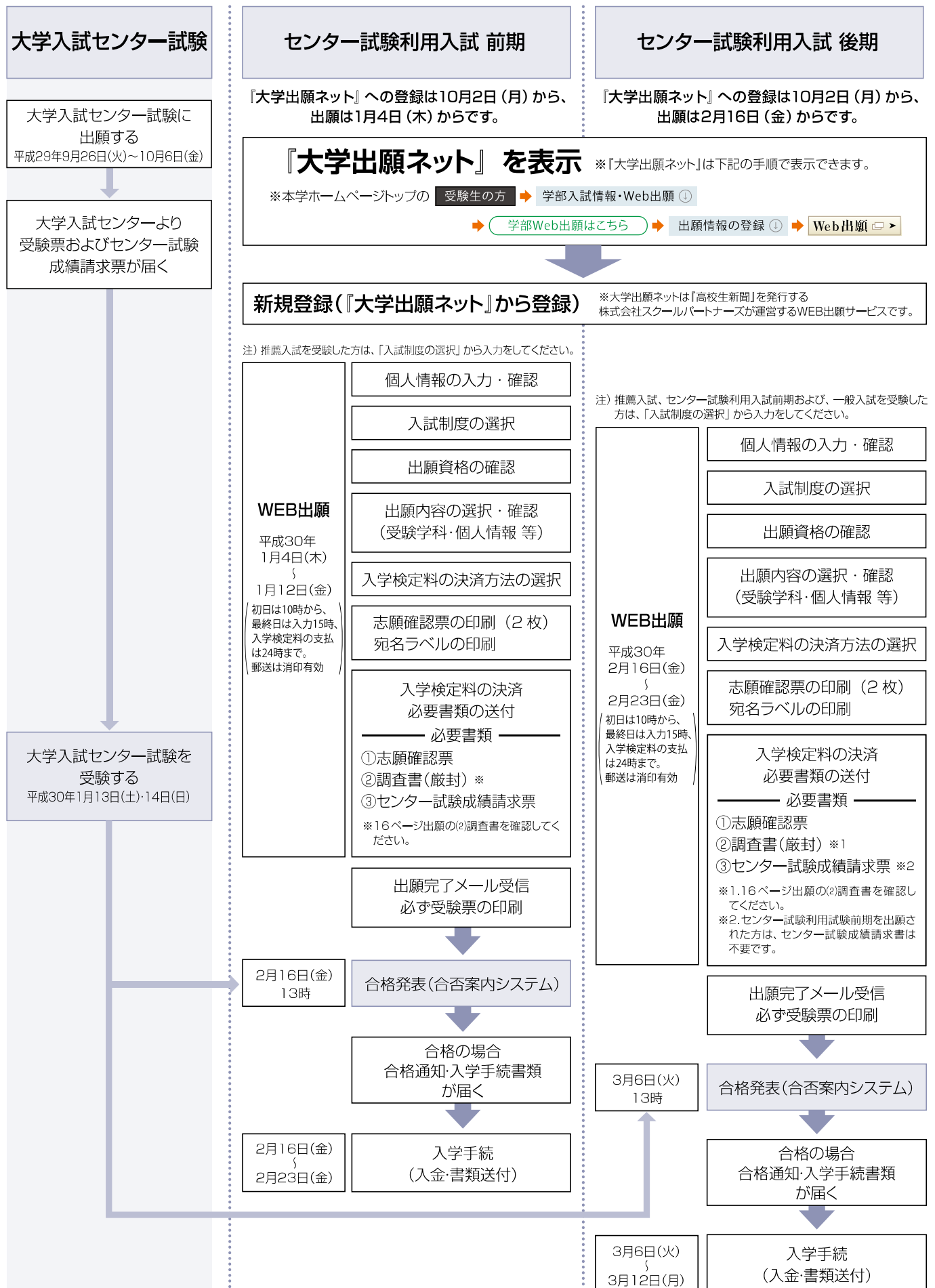
自然資源経営学科は、生物産業（生産-加工-流通・ビジネス）と自然環境の共生という学部共通の学びを基盤とし、北海道オホーツク地域のフィールド環境を活かして、生物産業を中心とした経営体の持続的発展と地域ビジネス創造、産業間・農商工連携の支援手法、6次産業化支援プログラム、さらに社会の要請する課題やニーズに対応できる分析力や能力を兼ね備えた起業家ならびに生物産業における新しい市場を創出して地域社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- ①本学の教育理念である実学主義のもとで、将来、地域や組織のリーダーとして社会に貢献したいという強い意思を有している。
- ②生物産業の持続的発展や自然環境との共生に関心を持ち、明確な問題意識と強い学修意欲を有している。
- ③心身共に健全で自立した社会生活ができ、人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- ④高校までの基礎学力を修得し、さらに社会的な関心と知識を有している。

※1 2018年4月名称変更

※2 2018年4月開設

出願から入学手続までの流れ



出願資格

本学、入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）を理解のうえ、以下の①～⑧のいずれかに該当する者で、「平成30年度大学入試センター試験」において本学が指定する教科・科目を受験する者。

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者および平成30年3月31日までに卒業見込の者。
- ②特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込の者。
- ③外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込の者。
- ④我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込の者。
- ⑤高等学校と同等と文部科学大臣から認定された在外教育施設の課程を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込の者。
- ⑥文部科学大臣から指定された専修学校の高等課程を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込の者。
- ⑦高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格および平成30年3月31日までに合格見込の者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者。
- ⑧平成30年3月31日までに18歳に達する者。

概要

○本学独自の二次試験、面接などは一切課しません。大学入試センター試験の結果のみで合否を判定します。科目間の得点補正は、大学入試センターによるもの以外はいりません。

○「合否判定の対象となる科目」については、試験科目一覧（10～15ページ）をご覧ください。

出願の特徴

○前期・後期とも同一学部であるなしにかかわらず、複数の学科に出願することができます。

○全学部において前期は4科目型と3科目型を選択または併願が可能で、後期は3科目型のみでの受験となります。

募集人員・入試日程

センター試験利用入試 前期

学 部	学 科	募集人員		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
		4科目型	3科目型				
農 学 部	農 学 科	7	17	WEB出願 平成30年 1月4日(木) } 1月12日(金) 初日は10時から、 最終日は入力15時、 入学検定料の 支払は24時まで。 郵送は消印有効	平成30年度 大学入試 センター試験 } 平成30年 1月13日(土) } 1月14日(日)	平成30年 2月16日(金) 13時	平成30年 2月16日(金) } 2月23日(金) 郵送のみ (消印有効)
	動 物 科 学 科 ^{*1}	5	17				
	生 物 資 源 開 発 学 科 ^{*2}	5	13				
	デ ザ イン 農 学 科 ^{*2}	4	13				
応用生物科学部	農 芸 化 学 科 ^{*1}	10	17				
	醸 造 科 学 科	12	15				
	食 品 安 全 健 康 学 科	12	15				
	栄 養 科 学 科	7	15				
生 命 科 学 部	バ イ オ サ イ エ ン ス 学 科	10	17				
	分 子 生 命 化 学 科	5	9				
	分 子 微 生 物 学 科	6	12				
地 域 環 境 科 学 部	森 林 総 合 科 学 科	4	9				
	生 産 環 境 工 学 科	5	12				
	造 園 科 学 科	6	12				
	地 域 創 成 科 学 科	4	9				
国 際 食 料 情 報 学 部	国 際 農 業 開 発 学 科	6	18				
	食 料 環 境 経 済 学 科	5	25				
	国 際 バ イ オ ビ ジ ネ ス 学 科	6	20				
	国 際 食 農 科 学 科	5	13				
生 物 産 業 学 部	北 方 圏 農 学 科 ^{*1}	2	13				
	海 洋 水 産 学 科 ^{*1}	2	8				
	食 香 粧 化 学 科 ^{*1}	2	11				
	自 然 資 源 経 営 学 科 ^{*1}	2	9				

※1 2018年4月名称変更 ※2 2018年4月開設

ここに表記された出願期間は、東京農業大学のセンター試験利用入試へ出願する期間です。大学入試センター試験への出願期間等については、別途大学入試センターが配付する受験案内を参照してください。

センター試験利用入試 後期

学 部	学 科	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
		3科目型				
農 学 部	農 学 科	3	WEB出願 平成30年 2月16日(金) } 2月23日(金) 初日は10時から、 最終日は入力15時、 入学検定料の 支払は24時まで。 郵送は消印有効	平成30年度 大学入試 センター試験 } 平成30年 1月13日(土) } 1月14日(日)	平成30年 3月6日(火) 13時	平成30年 3月6日(火) } 3月12日(月) 郵送のみ (消印有効)
	動 物 科 学 科 ^{*1}	2				
	生 物 資 源 開 発 学 科 ^{*2}	2				
	デ ザ イン 農 学 科 ^{*2}	2				
応用生物科学部	農 芸 化 学 科 ^{*1}	3				
	醸 造 科 学 科	3				
	食 品 安 全 健 康 学 科	3				
	栄 養 科 学 科	2				
生 命 科 学 部	バ イ オ サ イ エ ン ス 学 科	3				
	分 子 生 命 化 学 科	2				
	分 子 微 生 物 学 科	2				
地 域 環 境 科 学 部	森 林 総 合 科 学 科	2				
	生 産 環 境 工 学 科	2				
	造 園 科 学 科	2				
	地 域 創 成 科 学 科	2				
国 際 食 料 情 報 学 部	国 際 農 業 開 発 学 科	2				
	食 料 環 境 経 済 学 科	3				
	国 際 バ イ オ ビ ジ ネ ス 学 科	2				
	国 際 食 農 科 学 科	2				
生 物 産 業 学 部	北 方 圏 農 学 科 ^{*1}	3				
	海 洋 水 産 学 科 ^{*1}	2				
	食 香 粧 化 学 科 ^{*1}	2				
	自 然 資 源 経 営 学 科 ^{*1}	3				

※1 2018年4月名称変更 ※2 2018年4月開設

ここに表記された出願期間は、東京農業大学のセンター試験利用入試へ出願する期間です。大学入試センター試験への出願期間等については、別途大学入試センターが配付する受験案内を参照してください。

試験科目一覧

センター試験利用入試 4科目型

学部・学科	教科	指定科目	配点			
農学部	農学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）		
		2	国語	『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目選択 200（素点×2）	
			数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
		3	理科	『化学』	200（素点×2）	
		4		『生物』	200（素点×2）	
	『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。					
	動物科学科*1 生物資源開発学科*2	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）		
		2 国語	『国語』（近代以降の文章のみ）	200（素点×2）		
		3 数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	1科目選択 200（素点×2）		
		4 理科	『化学』、『生物』	1科目選択 200（素点×2）		
『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用います。 『理科』からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。						
デザイン農学科*2	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）		200（素点250点を200点に換算）		
		2	国語		『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目選択 200（素点×2）
	数学		『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』			
	3	地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る 200（素点×2） 200（素点×2）		
		公民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理・政治・経済』			
	4 理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『地理歴史』『公民』『理科』からの2科目選択は、『合否判定の対象となる科目』から『得点上位2科目』を合否判定に用います。 『合否判定の対象となる科目』は以下の通りとします。 ①『地理歴史』『公民』：第1解答科目のみ対象*。 ②『理科』：第1解答科目のみ対象。 *ただし『地理歴史』と『公民』の選択可能科目から1科目ずつ受験し、『理科』が『地理歴史』『公民』の得点を下回る、もしくは『理科』を受験していない場合に限り、『地理歴史』と『公民』の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。		
	『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『地理歴史』『公民』『理科』からの2科目選択は、『合否判定の対象となる科目』から『得点上位2科目』を合否判定に用います。 『合否判定の対象となる科目』は以下の通りとします。 ①『地理歴史』『公民』：第1解答科目のみ対象*。 ②『理科』：第1解答科目のみ対象。 *ただし『地理歴史』と『公民』の選択可能科目から1科目ずつ受験し、『理科』が『地理歴史』『公民』の得点を下回る、もしくは『理科』を受験していない場合に限り、『地理歴史』と『公民』の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。					
	応用生物科学部	農芸化学科*1 醸造科学科 食品安全健康学科 栄養科学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
			2	国語	『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目選択 200（素点×2）
		数学		『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
3 理科		『化学』		200（素点×2）		
4 理科		『生物』		200（素点×2）		
『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。						
生命科学部	バイオサイエンス学科 分子微生物学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）		
		2	国語	『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目選択 200（素点×2）	
			数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
		3	理科	『物理』『化学』『生物』		2科目選択 200（素点×2） 200（素点×2）
				『物理』『化学』『生物』		
	『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。					
	分子生命化学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）		200（素点250点を200点に換算）	
		2 数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		1科目選択 200（素点×2）	
		3 理科	『化学』		200（素点×2）	
		4 理科	『物理』、『生物』		1科目選択 200（素点×2）	
『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用います。						
地域環境科学部	森林総合科学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）		
		2 国語	『国語』（近代以降の文章のみ）	200（素点×2）		
		3 数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	1科目選択 200（素点×2）		
		4	地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	1科目選択 200（素点×2）	
			理科	『物理』、『化学』、『生物』		
『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用います。 『地理歴史』『理科』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、『地理歴史』の第1解答科目および『理科』の第1解答科目のうち得点の高い科目を合否判定に用います。						

*1 2018年4月名称変更 *2 2018年4月開設

学 部 ・ 学 科	教 科	指 定 科 目	配 点		
地域環境科学部	生産環境工学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
		2 国 語	『国語』（近代以降の文章のみ）	200（素点×2）	
		3 数 学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	1科目選択 200（素点×2）	
		4 理 科	『物理』、『化学』、『生物』	1科目選択 200（素点×2）	
		「数学」からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用います。 「理科」からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。			
	造園科学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
		2 国 語	『国語』（近代以降の文章のみ）	200（素点×2）	
		3 数 学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る	200（素点×2） 200（素点×2）
			地理歴史		
		4 公 民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』		
		理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		
	「数学」「地理歴史」「公民」「理科」からの2科目選択は、「合否判定の対象となる科目」から「得点上位2科目」を合否判定に用います。「合否判定の対象となる科目」は以下の通りとします。 ①「数学」：受験した科目が対象。複数科目を受験した場合は、得点の高い科目が対象。 ②「地理歴史」「公民」：第1解答科目のみ対象※。 ③「理科」：第1解答科目のみ対象。 ※ただし「地理歴史」と「公民」の選択可能科目から1科目ずつ受験し、「数学」、「理科」のいずれもが「地理歴史」「公民」の得点を下回る、もしくは「数学」「理科」を受験していない場合に限り、「地理歴史」と「公民」の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。				
	地域創成科学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
		2 国 語	『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目 選択	200（素点×2）
			数 学		
3 地理歴史		『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る	200（素点×2） 200（素点×2）	
		4 公 民			『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』
理 科		『物理』、『化学』、『生物』、『地学』			
「国語」「数学」からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 「地理歴史」「公民」「理科」からの2科目選択は、「合否判定の対象となる科目」から「得点上位2科目」を合否判定に用います。「合否判定の対象となる科目」は以下の通りとします。 ①「地理歴史」「公民」：第1解答科目のみ対象※。 ②「理科」：第1解答科目のみ対象。 ※ただし「地理歴史」と「公民」の選択可能科目から1科目ずつ受験し、「理科」が「地理歴史」「公民」の得点を下回る、もしくは「理科」を受験していない場合に限り、「地理歴史」と「公民」の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。					
国際食料情報学部	国際農業開発学科 国際食農科学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
		2 国 語	『国語』（近代以降の文章のみ）	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る	200（素点×2） 200（素点×2）
			数 学		
		3 地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』		
		4 公 民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』		
	理 科	『化学』、『生物』	1科目選択	200（素点×2）	
	「理科」からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。 「国語」「数学」「地理歴史」「公民」からの2科目選択は、「合否判定の対象となる科目」から「得点上位2科目」を合否判定に用います。「合否判定の対象となる科目」は以下の通りとします。 ①「国語」：『国語』 ②「数学」：受験した科目が対象。複数科目を受験した場合は、得点の高い科目が対象。 ③「地理歴史」「公民」：第1解答科目のみ対象※。 ※ただし「地理歴史」と「公民」の選択可能科目から1科目ずつ受験し、「国語」、「数学」のいずれもが「地理歴史」「公民」の得点を下回る、もしくは「国語」「数学」を受験していない場合に限り、「地理歴史」と「公民」の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。				
	食料環境経済学科 国際バイオビジネス学科	1 外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
		2 国 語	『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目 選択	200（素点×2）
			数 学		
3 地理歴史		『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る	200（素点×2） 200（素点×2）	
4 公 民		『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』			
理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』				
「国語」「数学」からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 「地理歴史」「公民」「理科」からの2科目選択は、「合否判定の対象となる科目」から「得点上位2科目」を合否判定に用います。「合否判定の対象となる科目」は以下の通りとします。 ①「地理歴史」「公民」：第1解答科目のみ対象※。 ②「理科」：第1解答科目のみ対象。 ※ただし「地理歴史」と「公民」の選択可能科目から1科目ずつ受験し、「理科」が「地理歴史」「公民」の得点を下回る、もしくは「理科」を受験していない場合に限り、「地理歴史」と「公民」の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。					

学部・学科	教科	指 定 科 目	配 点
北方圏農学科※1 海洋水産学科※1 食香料化学科※1	1	外国語 『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）
	2	国 語 『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目選択 200（素点×2）
		数 学 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	
	3	理 科 『化学』	200（素点×2）
4	理 科 『生物』	200（素点×2）	
「国語」「数学」からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。			
生物産業学部 自然資源経営学科※1	1	外国語 『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）
	2	国 語 『国語』（近代以降の文章のみ）	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る
		数 学 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	
	3	地理歴史 『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	200（素点×2）
		公 民 『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』	200（素点×2）
4	理 科 『化学』、『生物』	1科目選択 200（素点×2）	
<p>「理科」からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。</p> <p>「国語」「数学」「地理歴史」「公民」からの2科目選択は、「合否判定の対象となる科目」から「得点上位2科目」を合否判定に用います。「合否判定の対象となる科目」は以下の通りとします。</p> <p>①「国語」：「国語」</p> <p>②「数学」：受験した科目が対象。複数科目を受験した場合は、得点の高い科目が対象。</p> <p>③「地理歴史」「公民」：第1解答科目のみ対象※。</p> <p>※ただし「地理歴史」と「公民」の選択可能科目から1科目ずつ受験し、「国語」、「数学」のいずれもが「地理歴史」「公民」の得点を下回る、もしくは「国語」「数学」を受験していない場合に限り、「地理歴史」と「公民」の「第1解答科目」と「第2解答科目」の両方を合否判定に用います。</p>			

※1 2018年4月名称変更 ※2 2018年4月開設

センター試験利用入試 3科目型

学部・学科	教科	指定科目	配点		
農学部	農学科 動物科学科*1 生物資源開発学科*2	1 外国語	『英語』(リスニングを含む)	200(素点250点を200点に換算)	
		2 国語	『国語』(近代以降の文章のみ)	1科目選択	200(素点×2)
			数学		
		3 理科	『化学』、『生物』	1科目選択	200(素点×2)
	『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『理科』からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。				
	デザイン農学科*2	1 外国語	『英語』(リスニングを含む)	200(素点250点を200点に換算)	
		2 国語	『国語』(近代以降の文章のみ)	2科目選択 ただし 1科目から	200(素点×2)
			数学		
		3 地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	1科目に限る	200(素点×2)
			公民		
理科		『物理』、『化学』、『生物』、『地学』			
『国語』『数学』『地理歴史』『公民』『理科』からの2科目選択は、「合否判定の対象となる科目」から「得点上位2科目」を合否判定に用います。「合否判定の対象となる科目」は以下の通りとします。 ①「国語」:『国語』 ②「数学」:受験した科目が対象。複数科目を受験した場合は、得点の高い科目が対象。 ③「地理歴史」「公民」:第1解答科目のみ対象*。 ④「理科」:第1解答科目のみ対象。 *ただし「地理歴史」と「公民」の選択可能科目から1科目ずつ受験し、「国語」、「数学」、「理科」のいずれもが「地理歴史」「公民」の得点を下回る、もしくは「国語」「数学」「理科」を受験していない場合に限り、「地理歴史」と「公民」の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。					
応用生物科学部	農芸化学科*1 醸造科学科 食品安全健康学科 栄養科学科	1 外国語	『英語』(リスニングを含む)	200(素点250点を200点に換算)	
		2 国語	『国語』(近代以降の文章のみ)	1科目選択	200(素点×2)
			数学		
	3 理科	『化学』、『生物』	1科目選択	200(素点×2)	
『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『理科』からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。					
生命科学部*	バイオサイエンス学科 分子微生物学科	1 外国語	『英語』(リスニングを含む)	200(素点250点を200点に換算)	
		2 国語	『国語』(近代以降の文章のみ)	2科目選択 ただし 限定がある	200(素点×2)
			数学		
		3 理科	『物理』、『化学』、『生物』		200(素点×2)
		『国語』『数学』『理科』からの2科目選択は、「合否判定の対象となる科目」から「得点上位2科目」を合否判定に用います。「合否判定の対象となる科目」は以下の通りとします。 ①「国語」「数学」の複数科目を受験した場合は、得点の最も高い1科目を合否判定に用います。 ②「理科」:第1解答科目のみ対象。 ただし「国語」「数学」の複数科目を受験し、「国語」「数学」いずれもが「理科」の得点を下回る、もしくは「国語」「数学」を受験していない場合に限り、「理科」の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。 「理科」を受験せず、「国語」、「数学」の複数科目を受験している場合には「国語」「数学」の2科目両方が合否判定の対象科目にはなりません。			
		分子生命化学科	1 外国語	『英語』(リスニングを含む)	200(素点250点を200点に換算)
	2 数学		『数学I・数学A』、『数学II・数学B』	1科目選択	200(素点×2)
	3 理科		『物理』、『化学』	1科目選択	200(素点×2)
	『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『理科』からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。				
	地域環境科学部	森林総合科学科	1 外国語	『英語』(リスニングを含む)	200(素点250点を200点に換算)
2 国語			『国語』(近代以降の文章のみ)	1科目選択	200(素点×2)
			地理歴史		
3 数学			『数学I・数学A』、『数学II・数学B』	1科目選択	200(素点×2)
理科	『物理』、『化学』、『生物』				
『国語』『地理歴史』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、「地理歴史」の第1解答科目および「国語」のうち得点の高い科目を合否判定に用います。 『数学』『理科』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、「理科」の第1解答科目および「数学」のうち得点の最も高い科目を合否判定に用います。					

*1 2018年4月名称変更 *2 2018年4月開設

学 部 ・ 学 科	教 科	指 定 科 目	配 点	
地域環境工学科	1	外国語 『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
	2	国 語 『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目 選択	200（素点×2）
		数 学 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
	3	理 科 『物理』、『化学』、『生物』	1科目選択	200（素点×2）
	『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『理科』からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。			
造園科学科	1	外国語 『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
	2	国 語 『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目 選択	200（素点×2）
		数 学 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
	3	地理歴史 『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	1科目 選択	200（素点×2）
		公 民 『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』		
理 科 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』				
『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『地理歴史』『公民』『理科』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、『地理歴史』『公民』の第1解答科目および『理科』の第1解答科目のうち得点の高い科目を合否判定に用います。				
地域創成科学科	1	外国語 『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
	2	国 語 『国語』（近代以降の文章のみ）	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る	200（素点×2） 200（素点×2）
		数 学 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
	3	地理歴史 『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	1科目に限る	200（素点×2）
		公 民 『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』		
理 科 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』				
『国語』『数学』『地理歴史』『公民』『理科』からの2科目選択は、『合否判定の対象となる科目』から『得点上位2科目』を合否判定に用います。『合否判定の対象となる科目』は以下の通りとします。 ①『国語』：『国語』 ②『数学』：受験した科目が対象。複数科目を受験した場合は、得点の高い科目が対象。 ③『地理歴史』『公民』：第1解答科目のみ対象※。 ④『理科』：第1解答科目のみ対象。 ※ただし『地理歴史』と『公民』の選択可能科目から1科目ずつ受験し、『国語』、『数学』、『理科』のいずれもが『地理歴史』『公民』の得点を下回る、もしくは『国語』『数学』『理科』を受験していない場合に限り、『地理歴史』と『公民』の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。				
国際農業開発学科 国際食農科学科	1	外国語 『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
	2	国 語 『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目 選択	200（素点×2）
		数 学 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
	3	地理歴史 『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	1科目選択	200（素点×2）
		公 民 『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』		
理 科 『化学』、『生物』				
『国語』『数学』『地理歴史』『公民』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、『地理歴史』『公民』の第1解答科目および『国語』『数学』のうち得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『理科』からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。				
食料環境経済学科 国際バイオビジネス学科	1	外国語 『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を200点に換算）	
	2	国 語 『国語』（近代以降の文章のみ）	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る	200（素点×2） 200（素点×2）
		数 学 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
	3	地理歴史 『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	1科目に限る	200（素点×2）
		公 民 『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理,政治・経済』		
理 科 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』				
『国語』『数学』『地理歴史』『公民』『理科』からの2科目選択は、『合否判定の対象となる科目』から『得点上位2科目』を合否判定に用います。『合否判定の対象となる科目』は以下の通りとします。 ①『国語』：『国語』 ②『数学』：受験した科目が対象。複数科目を受験した場合は、得点の高い科目が対象。 ③『地理歴史』『公民』：第1解答科目のみ対象※。 ④『理科』：第1解答科目のみ対象。 ※ただし『地理歴史』と『公民』の選択可能科目から1科目ずつ受験し、『国語』、『数学』、『理科』のいずれもが『地理歴史』『公民』の得点を下回る、もしくは『国語』『数学』『理科』を受験していない場合に限り、『地理歴史』と『公民』の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。				

学部・学科		教科	指定科目	配点	
北方圏農学科※ ¹ 海洋水産学科※ ¹ 食香粧化学科※ ¹	1	外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を 200点に換算）	
	2	国語	『国語』（近代以降の文章のみ）	1科目 選択	200（素点×2）
		数学	『数学I・数学A』、『数学II・数学B』		
	3	理科	『化学』、『生物』	1科目選択	200（素点×2）
『国語』『数学』からの1科目選択において、複数科目を受験した場合は、得点の最も高い科目を合否判定に用います。 『理科』からの1科目選択は、第1解答科目を合否判定に用います。					
生物産業学部 自然資源経営学科※ ¹	1	外国語	『英語』（リスニングを含む）	200（素点250点を 200点に換算）	
	2	国語	『国語』（近代以降の文章のみ）	2科目選択 ただし 1教科から 1科目に限る	200（素点×2） 200（素点×2）
		数学	『数学I・数学A』、『数学II・数学B』		
	3	地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	1科目に限る	200（素点×2）
		公民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理・政治・経済』		
	理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』			
『国語』『数学』『地理歴史』『公民』『理科』からの2科目選択は、「合否判定の対象となる科目」から「得点上位2科目」を合否判定に用います。「合否判定の対象となる科目」は以下の通りとします。 ①『国語』：『国語』 ②『数学』：受験した科目が対象。複数科目を受験した場合は、得点の高い科目が対象。 ③『地理歴史』『公民』：第1解答科目のみ対象※。 ④『理科』：第1解答科目のみ対象。 ※ただし「地理歴史」と「公民」の選択可能科目から1科目ずつ受験し、「国語」、「数学」、「理科」のいずれもが「地理歴史」「公民」の得点を下回る、もしくは「国語」「数学」「理科」を受験していない場合に限り、「地理歴史」と「公民」の“第1解答科目”と“第2解答科目”の両方を合否判定に用います。					

※¹ 2018年4月名称変更

注)

- 「地理歴史」「公民」および「理科」に関連する「1科目選択」について、第1解答科目に指定科目を受験していない場合は、第2解答科目に指定科目を受験していても、その教科を合否判定に用いることができませんので注意してください。
- 『国語』については「近代以降の文章」の得点のみが判定の対象となります。「古文」「漢文」の得点や解答の有無は問いません。
- 科目間の得点補正については、大学入試センターによる得点補正以外は行いません。

出願

1. 出願に必要な書類

(1)志願確認票 ○「大学出願ネット」の入学検定料の決済方法の選択が完了すると、「出願状況一覧」より「志願確認票」、「宛名ラベル」がダウンロードできるようになります。「志願確認票」はA4用紙で2枚印刷し、1枚を本人控えに、1枚を必要書類と「宛名ラベル」を貼付した封筒に同封して送付してください。

※「宛名ラベル」は市販の角5サイズ以上の封筒に貼付して、使用してください。なお、センター試験利用入試前・後期、一般入試A日程・一般入試B日程のうち同時に2つ以上の入試制度を出願される場合、封筒は1通で結構です。

(2)調査書 (厳封) 平成29年10月1日以降に発行のもの。(既卒者は卒業後発行されたものであれば可)

○文部科学省指定の様式により出身学校が作成した大学受験に用いる調査書で「評定平均値欄」「成績概評」を記入したもの(発行責任者が厳封したものに限る)。留学で3年間のうち成績の記入できない年次がある者については、学校長が修得を認定した単位数を記入し、認定の元となる成績証明書の原本(学校長が原本証明した書類でもよい)を添付してください。

○調査書は、本年度の本学WEB出願入試(推薦入試、大自然に学ぶ北海道入試、センター試験利用入試前・後期、一般入試A日程・B日程)で1通を送付いただきます。

○本年度、推薦入試を出願した方は、以降の入試で調査書の送付は不要です。

例)送付に必要な書類は下の表を参考にしてください。

○は送付必要 ×は必要なし

出願状況による提出書類	センター試験利用入試			一般入試				センター試験利用入試		
	前期		センター試験成績請求票	A日程		B日程		後期		
	志願確認票	調査書		志願確認票	調査書	志願確認票	調査書	志願確認票	調査書	センター試験成績請求票
推薦入試(WEB出願)出願後に各入試制度のみ出願	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○
推薦入試(WEB出願)出願後にセンタ前+一般Aを出願	○	×	○	×	×	—	—	—	—	—
推薦入試(WEB出願)出願後にセンタ前+一般A+一般Bを出願	○	×	○	×	×	×	×	—	—	—
推薦入試(WEB出願)出願後にセンタ前+一般A+一般B+センタ後を出願	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
各入試制度のみ出願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
センタ前+一般Aを出願	○	○	○	×	×	—	—	—	—	—
センタ前+一般Bを出願	○	○	○	—	—	×	×	—	—	—
センタ前+センタ後を出願	○	○	○	—	—	—	—	×	×	×
一般A+一般Bを出願	—	—	—	○	○	×	×	—	—	—
一般A+一般B+センタ後を出願	—	—	—	○	○	×	×	○	×	○
一般A+センタ後を出願	—	—	—	○	○	—	—	○	×	○
一般B+センタ後を出願	—	—	—	—	—	×	×	○	○	○
センタ前、一般A、一般B、センタ後を出願後に同一入試を追加出願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

試験名は略称です。センタ前=センター試験利用入試前期、センタ後=センター試験利用入試後期

一般A=一般入試A日程、一般B=一般入試B日程

○各書類の氏名が現在(出願時に入力された氏名)と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

○学校卒業後5年以上経過し、出身学校で調査書が発行できない場合は、卒業証明書を同封してください。

○高等学校卒業程度認定試験に平成30年3月31日までに合格または合格見込みの者(大学入学資格検定合格者を含む)は、調査書に代わり「合格成績証明書」が必要となります(合格見込者は、合格見込成績証明書)。

(3)センター試験成績請求票

○大学入試センターより届いた「平成30年度センター試験成績請求票(私立大学・公私立短期大学用)」をセンター試験利用入試前期の出願者は必ず「志願確認票」の指定された場所に貼付してください。

○本年度、センター試験利用入試前期を出願された方は、センター試験利用入試後期の出願時にはセンター試験成績請求票は不要です。

○本年度、センター試験利用入試後期のみを出願する場合は、センター試験成績請求票を「志願確認票」の指定された場所に貼付してください。

○入学後、出願書類の記載内容が故意に事実と反していることが判明した場合には退学を命じます。

2. 入学検定料

- (1)金額 ○入学検定料は1学科につき15,000円となります(推薦入試・一般入試とは金額が異なります)。
○4科目型と3科目型は、併願できますが、両制度で同一学科に出願する場合はそれぞれ1学科、計2学科として扱います。
例) 4科目型の農学科、動物科学科、3科目型の農学科、動物科学科、北方圏農学科に出願した場合、入学検定料は15,000円×5学科分となり、計75,000円となります。

- (2)入学検定料に係る事務手数料 入学検定料は、1学科につき15,000円となります。

入学検定料	クレジットカード	コンビニエンスストア	ペイジー	入学検定料	クレジットカード	コンビニエンスストア	ペイジー
15,000	350	350	250	165,000	3,700	650	550
30,000	700	350	500	180,000	4,000	650	550
45,000	1,100	350	500	195,000	4,400	650	550
60,000	1,400	600	500	210,000	4,700	650	550
75,000	1,700	600	500	225,000	5,000	650	550
90,000	2,000	600	500	240,000	5,400	650	550
105,000	2,400	650	500	255,000	5,700	650	550
120,000	2,700	650	500	270,000	6,000	650	550
135,000	3,000	650	500	285,000	6,400	650	550
150,000	3,400	650	550	300,000	6,700	*	700

*コンビニエンスストアでの支払い可能金額は300,000円未満です。

- (3)入金・決算方法

クレジットカード	コンビニエンスストア	ペイジー
 <p>VISA、Master Cardを利用して ネット上でお支払いが可能です</p> <p>※クレジットカードの名義人は受験生本人でなくとも構いません。</p>	 <p>上記コンビニエンスストアで お支払いが可能です</p> <p>※最初にWEB上で手続きを行います。 ※利用可能なコンビニエンスストアが増えた場合は、ホームページでお知らせします。</p>	 <p>ペイジー対応のATMまたは インターネットバンキング・モバイル バンキングでお支払いが可能です</p> <p>※事前契約が必要です。ご利用可能な銀行や郵便局は、ペイジーのホームページで事前にご確認ください。</p>

※コンビニエンスストア・ペイジーを選択した場合は、画面上の支払票に記載されている内容を控えて、所定のATMやコンビニエンスストアなどの施設でお支払いください。

- (4)振込期間 ○前期 平成30年1月 4日(木)～1月12日(金)
○後期 平成30年2月16日(金)～2月23日(金)
※支払期限は、入学検定料の決済方法の選択・登録した日の「翌々日の24時」です。ただし、出願期間最終日前日および最終日に登録した場合の支払期限は「出願期間最終日の24時」となります。

- (5)注意事項 ○必要書類送付用封筒に現金・小切手・郵便小為替などを同封したものは受付できません。
○入学検定料のほかに事務手数料がかかります。事務手数料は受験生負担となります。
○出願期限内に入学検定料の支払いがなかった場合は登録情報が無効になります。(氏名、連絡先などの個人情報情報は除きます)
○入学検定料の入金後は、登録内容の変更はできません。
○いったん納入された入学検定料および事務手数料の返金はできません。

3. 出願書類の提出

- (1)提出方法 ○市販の角5サイズ以上の封筒に、印刷した「宛名ラベル」を貼付し、必要書類を封入してください。
○出願書類の提出は、郵送となります。必ず郵便局の窓口から「簡易書留郵便の速達」で送付してください。
○複数の入試制度を同時に出願する場合、1つの封筒にすべての書類を同封してください。
- (2)出願期間 ○前期 平成30年1月4日(木)～1月12日(金) 消印有効
○後期 平成30年2月16日(金)～2月23日(金) 消印有効
- (3)注意事項 ○入学検定料・出願書類のいずれか一方でも出願期間を過ぎたり、不備がある場合には受付できません。
○入学検定料の支払完了後は受験学部・学科の変更を認めません。

4. 受験票

- 必要書類の受理・入学検定料の入金が確認されると、登録されたメールアドレスに「出願完了メール」が送信されます。受信したメールの内容に従って、受験票をA4用紙に印刷し、受験票の記載内容を必ず確認してください。記載内容の訂正をしたい場合は、大学出願ネットサポートセンター(電話 042-732-3951)までお問い合わせください。
- ※受験票は、大学入試センター試験当日に持参する必要はありません。
- ※センター試験利用入試の出願者は合格発表日に受験票が必要となります(受験番号確認のため)ので、必ず印刷して保存しておいてください。

5. 「出願状況一覧」から出願内容を確認

- 「大学出願ネット」の入学検定料の決済方法の選択が完了すると、「出願状況一覧」が作成されます。「出願状況一覧」では出願内容、入学検定料の入金状況および必要書類の提出の有無などを確認することができます。
- ※必要書類到着後、「写真」に不備があったり、書類が不足している場合は、「大学出願ネット」の「お知らせ」に不備内容がメールで送信されます。出願後は「受験票」が発行されるまで、こまめに「大学出願ネット」の「お知らせ」のチェックをお願いします。

出願における注意事項

①出願データの有効期限

登録された出願データは入学検定料の支払いがないまま支払期限(17ページ(4)振込期間の※を参照)を過ぎると無効となります。

(氏名、連絡先などの個人情報は除きます)

②漢字などの登録エラー

住所・氏名などの情報を入力する際、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになります。例)高、崎などその際は高→高、崎→崎というように、代わりの文字で入力してください。

③個人情報の変更

住所、連絡先などの個人情報は、ログイン後「登録情報」から変更したい情報の右横にある「変更する」から正しい情報を入力の上、変更依頼を送信してください。

④出願情報の変更(キャンセル(削除)⇒再度出願登録)

志望学科や試験会場などを間違えて登録した場合、入学検定料を支払う前であれば、ログイン後「支払状況」からキャンセル(削除)し、再度正しい内容で出願登録を行ってください。

合格発表

1. 発表日時

- 前期…平成30年2月16日(金) 13時
- 後期…平成30年3月 6日(火) 13時

2. 発表の方法

- ①合格通知の郵送
合格者には、志願票に記載された住所(日本国内に限る)に合格通知および入学手続き書類を「簡易書留郵便の速達」で郵送します。合格発表日に発送します。
- ②合否案内システム(インターネット)
受験生本人がインターネットにアクセスすることで合否結果を知ることができます。利用方法については22ページをご覧ください。

3. 注意事項

- 大学および試験会場では合格発表の掲示は行いません。
- 入試センター窓口では合格通知の交付は行いません。
- 不合格者への書類による通知は行いません。

入学手続

1. 手続期間

- 前期…平成30年2月16日(金)～2月23日(金) 消印有効(郵送のみ)
- 後期…平成30年3月 6日(火)～3月12日(月) 消印有効(郵送のみ)

2. 手続方法

- 期間内に納付金を入金し、入学手続き書類を送付してください。手続期間内に、入学金等納付金(20ページ)の「一括」または「分割(第1回)」の金額の入金が必要となります。詳細は合格通知に同封される「入学手続要項」をご参照ください。

3. 注意事項

- 手続期間内に入学手続をしない場合は、入学資格を失います(納付金入金と入学手続き書類提出の両方をもって入学手続完了となります)。
- センター試験利用入試前期もしくは一般入試A日程を受験して合格し、入学手続を完了した後、センター試験利用入試後期で他学科を受験して合格した場合、該当学科に入学手続を行うことは可能です。その場合、先に入金した納付金は新たに手続きを行う学科の納付金として全額流用のうえ、差額分の納付または本学からの返金となります。

入学辞退

- 入学手続完了後の入学取り消し、または入学を辞退する場合は、所定の手続を終了することにより、入学金を除く納付金を返還します。入学辞退による納付金の返還請求期限は平成30年3月23日(金) 午前11時(郵送および窓口とも本学必着)です。なお、やむを得ず期日を過ぎる場合は、平成30年3月31日(土) 到着を最終限度とします。

新入生納付金明細表 (学費)

2018年度 (平成30年度) 新入生納付金明細表

(単位:円)

学部・学科	大学納付金					その他の諸会費	合計		
	入学金	授業料	実験実習演習費	整備拡充費	学生厚生費		分割の場合	一括の場合	
農学部	農学	270,000	380,000	180,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,028,400	1,523,400
			380,000		115,000			第2回 495,000	
	動物科学科*1	270,000	380,000	200,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,048,400	1,543,400
			380,000		115,000			第2回 495,000	
	生物資源開発学科*2	270,000	380,000	200,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,048,400	1,543,400
		380,000		115,000			第2回 495,000		
デザイン農学科*2	270,000	380,000	200,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,048,400	1,543,400	
		380,000		115,000			第2回 495,000		
応用生物科学部	農芸化学科*1	270,000	380,000	250,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,098,400	1,593,400
			380,000		115,000			第2回 495,000	
	醸造科学科	270,000	380,000	250,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,098,400	1,593,400
			380,000		115,000			第2回 495,000	
食品安全健康学科	270,000	380,000	250,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,098,400	1,593,400	
		380,000		115,000			第2回 495,000		
栄養科学科	270,000	380,000	300,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,148,400	1,643,400	
		380,000		115,000			第2回 495,000		
生命科学部	バイオサイエンス学科	270,000	380,000	250,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,098,400	1,593,400
			380,000		115,000			第2回 495,000	
	分子生命化学科	270,000	380,000	250,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,098,400	1,593,400
地域環境科学部	森林総合科学科	270,000	380,000	150,000	115,000	25,600	57,800	第1回 998,400	1,493,400
			380,000		115,000			第2回 495,000	
	生産環境工学科	270,000	380,000	150,000	115,000	25,600	57,800	第1回 998,400	1,493,400
			380,000		115,000			第2回 495,000	
造園科学科	270,000	380,000	150,000	115,000	25,600	57,800	第1回 998,400	1,493,400	
		380,000		115,000			第2回 495,000		
地域創成科学科	270,000	380,000	150,000	115,000	25,600	57,800	第1回 998,400	1,493,400	
		380,000		115,000			第2回 495,000		
国際食料情報学部	国際農業開発学科	270,000	380,000	180,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,028,400	1,523,400
			380,000		115,000			第2回 495,000	
	食料環境経済学科	270,000	380,000	120,000	90,000	25,600	57,800	第1回 943,400	1,413,400
			380,000		90,000			第2回 470,000	
国際バイオビジネス学科	270,000	380,000	120,000	90,000	25,600	57,800	第1回 943,400	1,413,400	
		380,000		90,000			第2回 470,000		
国際食農科学科	270,000	380,000	200,000	115,000	25,600	57,800	第1回 1,048,400	1,543,400	
		380,000		115,000			第2回 495,000		
生物産業学部	北方圏農学科*1	270,000	380,000	165,000	130,000	25,600	57,800	第1回 1,028,400	1,538,400
			380,000		130,000			第2回 510,000	
	海洋水産学科*1	270,000	380,000	200,000	130,000	25,600	57,800	第1回 1,063,400	1,573,400
			380,000		130,000			第2回 510,000	
食香料化学科*1	270,000	380,000	240,000	130,000	25,600	57,800	第1回 1,103,400	1,613,400	
		380,000		130,000			第2回 510,000		
自然資源経営学科*1	270,000	380,000	73,000	105,000	25,600	57,800	第1回 911,400	1,396,400	
		380,000		105,000			第2回 485,000		

●学費は、授業料および整備拡充費を2回(第1回および第2回)に分けて納入することができます。第2回は9月頃納入していただきます。

●その他の諸会費の内訳は、農友会費11,000円、応援団費1,800円、教育後援会費20,000円、校友会費25,000円です。

○次年度以降納付する学費等について

(単位:円)

	農学	動物*1	資源*2	デザイン*2	化学*1	醸造	健康	栄養	バイオ	生化	微生物	森林
2年次	1,286,400	1,306,400	1,306,400	1,306,400	1,366,400	1,366,400	1,366,400	1,486,400	1,366,400	1,366,400	1,366,400	1,246,400
3年次	1,336,400	1,366,400	1,366,400	1,366,400	1,416,400	1,416,400	1,416,400	1,536,400	1,416,400	1,416,400	1,416,400	1,306,400
4年次	1,386,400	1,436,400	1,436,400	1,436,400	1,466,400	1,466,400	1,466,400	1,586,400	1,466,400	1,466,400	1,466,400	1,366,400

	工学	造園	創成	開発	経済	ビジネス	食農	北農*1	水産*1	食香*1	経営*1
2年次	1,286,400	1,236,400	1,316,400	1,266,400	1,156,400	1,156,400	1,286,400	1,281,400	1,316,400	1,356,400	1,139,400
3年次	1,336,400	1,286,400	1,356,400	1,316,400	1,206,400	1,206,400	1,336,400	1,331,400	1,366,400	1,406,400	1,189,400
4年次	1,436,400	1,336,400	1,386,400	1,366,400	1,256,400	1,256,400	1,386,400	1,381,400	1,416,400	1,456,400	1,239,400

●入学後、教職課程、学術情報課程を履修する場合は、別途履修料金が必要になります。

●上記の金額はいずれも消費税は非課税です。

●学費は、授業料および整備拡充費を2回(第1回および第2回)に分けて納入することができます。第2回は9月頃納入していただきます。

※1 2018年4月名称変更 ※2 2018年4月開設

教育ローン制度

1. 東京農業大学 提携教育ローン

保護者または学生が銀行から融資を受ける制度です。受験票の受領後から申し込むことが可能です。また4年間を超える元金据え置き（利子分は除く）がありますので、卒業してからの返済が可能です。

【提携銀行】

三井住友銀行・三菱東京UFJ・みずほ銀行の3行の、全国の本店・支店で取り扱います。銀行によって金利など、融資の条件が異なります。詳細については各銀行にお問い合わせください。

銀行名		三井住友	三菱東京UFJ	みずほ
融資額		10～400万円 (1万円単位)	10～500万円 (1万円単位)	10～300万円 (1万円単位) 学生本人の場合200万円以内
利率	変動金利	3.475% 新規融資利率は原則毎月見直し 既融資分は年2回見直し	3.975% 半年毎見直し	3.575% 半年1回見直し(6月、12月)
	固定金利		4.975%	5.15%
問い合わせ先 (元扱店)		経堂支店 03-3425-3131	世田谷支店 03-3411-0191	世田谷支店 03-3410-2516

※利率は平成29年6月1日現在です。金融情勢により変動があります。

【申込方法】

融資を希望する銀行に直接問い合わせた上で申し込んでください。

合格して入学することを前提に受験前の事前申込が可能です。

申込後、審査に**2～3週間程度**かかりますので、融資を希望される場合は早めの申し込みをおすすめします。

①受験票の受領後、次の書類を添えて申し込みます。

- 受験票写し ●収入証明書（源泉徴収票や納税証明書等） ●健康保険証 ●住民票
- その他各銀行指定の書類

②合格後、合格通知と振込依頼書を銀行に提示してください。

審査終了後、ただちに融資が受けられます。

※詳細は各銀行へお問い合わせください。

教育ローン制度等を利用される方は、受験票の受領後から申し込むことが可能です。合格後の申請では、入学手続き期間内に審査が終了しない場合がありますので、事前の申し込みをおすすめいたします。入学手続き期間内に学費等納付金の入金ができない場合は、入学する権利を失いますのでご注意ください。

2. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

日本政策金融公庫で取り扱っている「国の教育ローン」制度があります。詳細はお電話等でご確認ください。

「国の教育ローン」コールセンター TEL.0570-008656（ナビダイヤル）

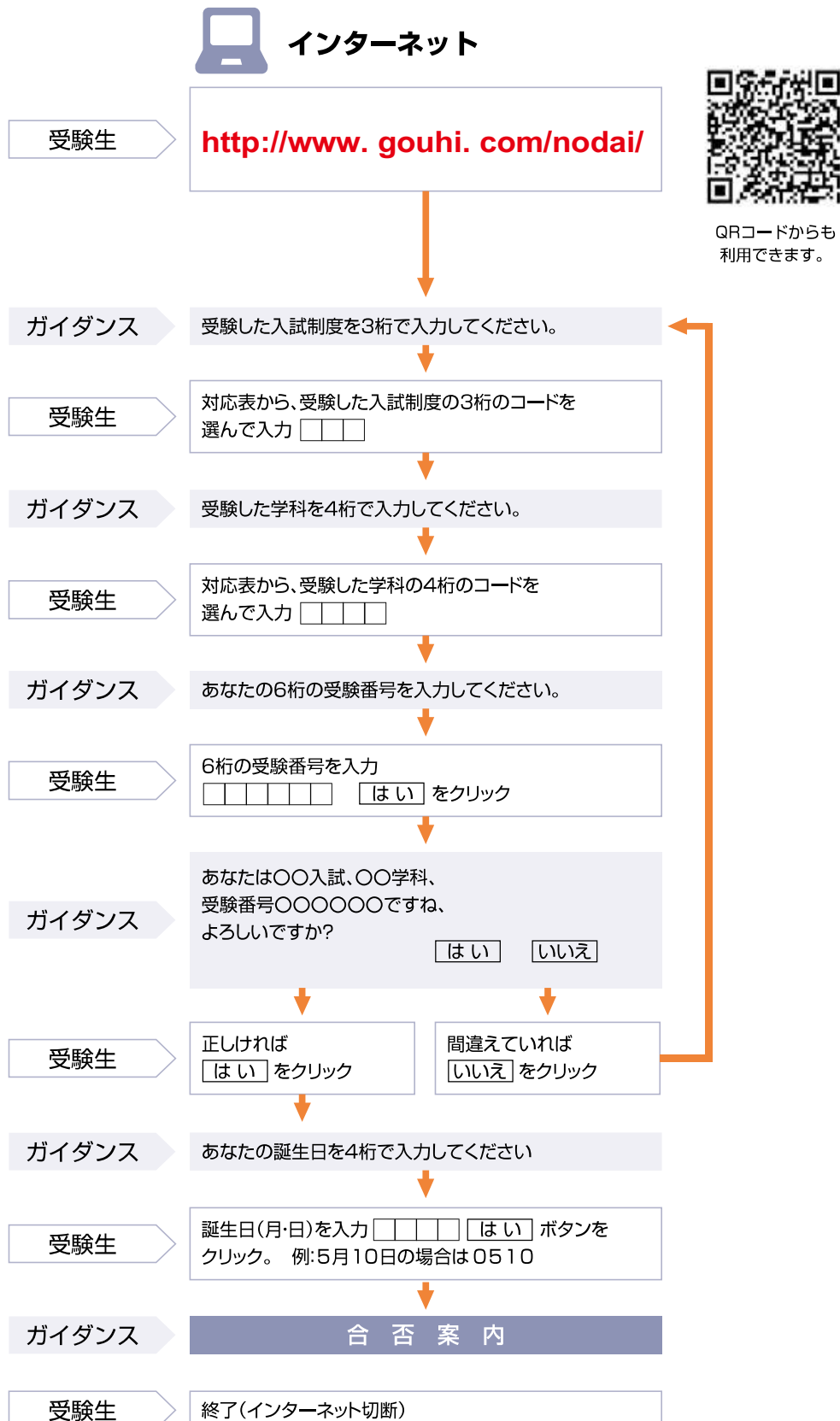
ご利用いただけない場合はTEL.03-5321-8656

ホームページアドレス <http://www.jfc.go.jp/>

合否案内システム

受験生本人が、携帯電話およびパソコンで所定のURLを入力することにより合否が確認できます。このシステムの利用には、入試制度・受験学科・受験番号・誕生日情報が必要となります。入試制度コード、学科コードを23ページで確認したうえで利用してください。

1. 利用方法



2. 対応表

入試制度コード

入試制度	コード
センター試験利用入試 前期 (4科目型)	711
センター試験利用入試 前期 (3科目型)	712
センター試験利用入試 後期 (3科目型)	720

学科コード

学 部	学科(専攻)名	コード
農学部	農学科	2101
	動物科学科 ※1	2113
	生物資源開発学科 ※2	2114
	デザイン農学科 ※2	2115
応用生物科学部	農芸化学科 ※1	2216
	醸造科学科	2207
	食品安全健康学科	2211
	栄養科学科	2212
生命科学部	バイオサイエンス学科	2601
	分子生命化学科	2602
	分子微生物学科	2603
地域環境科学部	森林総合科学科	2310
	生産環境工学科	2311
	造園科学科	2312
	地域創成科学科	2313
国際食料情報学部	国際農業開発学科	2413
	食料環境経済学科	2422
	国際バイオビジネス学科	2423
	国際食農科学科	2424
生物産業学部	北方圏農学科 ※1	2531
	海洋水産学科 ※1	2532
	食香粧化学科 ※1	2533
	自然資源経営学科 ※1	2534

※1 2018年4月名称変更

※2 2018年4月開設

3. 利用可能日時

センター試験利用入試前期

対象学部・学科	利用時間
全学部・全学科	平成30年2月16日(金)13時 ~ 2月19日(月)13時

センター試験利用入試後期

対象学部	利用時間
全学部・全学科	平成30年3月 6日(火)13時 ~ 3月 9日(金)13時